

2026年8月1日

安全報告書

2026年度

岡山電気軌道株式会社
電車事業部

1. 路面電車をご利用の皆さまへ

私どもの経営理念は、創業者松田与三郎翁が忘れず大切にしていた「忠恕（ちゅうじょ）」ということばです。“真心からの思いやり”という意味ですが、我々が生業（なりわい）とする旅客運輸サービスの根底に人としての思いやりが必要であることを説いたものです。

その経営理念を具現化した経営方針として、

1. 社会へのおもいやり 「社会正義」
2. お客さまへのおもいやり 「お客さま第一」
3. 社員への思いやり 「社員の幸せ」

の3つの柱をかけた、社会正義を大前提に、「安全」を最優先とした「日本一安全な運輸企業」を目指します。社会のため、お客さまのため、そして社員が仕事を通じて幸せを感じ思いやりの心を十分発揮できる職場とするため引き続き、安全、安心、お客さまからの信頼確保に努めてまいります。

本報告書は、運輸安全一括法に基づき、私どもの安全への取り組みや、安全の実態について自ら振り返るとともに、皆さまに広く取り組みをご理解いただくために公表するものです。この報告書をご覧になられた皆さまからの声を輸送の安全に役立て、今後の事業運営に反映させてまいりたいと考えております。

岡山電気軌道株式会社

取締役副社長 礒野省吾（安全統括管理者）

2. 輸送の安全を確保するための基本方針

（1）基本方針

1. 我々社員一同は常にお客さまの安全を最優先に考え行動します。いかなる時にも、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制整備を心がけるとともに、「安全基本方針」を次のように掲げ、社員一人ひとりが理解し行動します。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

2. 「忠恕」の経営理念、「社会正義」、「お客様第一」、「社員の幸せ」の経営方針に基づき、社会のため、お客さまからの信頼を得るため、安全を最優先とした「日本一安全な運輸企業」を目指して日夜努力を惜しまず行動します。
3. 経営トップは主体となって、社内に運輸安全マネジメントを根付かせ、継続的な運用を図るため自らが安全方針を策定します。働く全ての社員に安全確保の重要性の徹底を図り、輸送の安全に関する計画を作成するとともに、それを実行し、確認し、その改善を積極的に取り組みます。
4. 輸送の安全に関する計画を公表することで、安全の実態について自ら振り返るとともに、お客さまから寄せられる安全に対するご意見やご要望に真摯に耳を傾け、不断の決意をもって安全対策に取り組みます。

(2) 活動方針

1. 我々社員一同は、自らが策定する安全管理規程を十分に理解し、道路交通法、軌道法をはじめとする関係法令を遵守します。
2. PDCAサイクルに基づいた継続的な業務改善に取り組むにより、職場内に安全風土を構築します。
3. 安全確保に関する投資計画を効果的に実施することで、ヒューマンエラーの抑止に努め、実のある成果を確保します。
4. 社員に健康管理の重要性を理解させ、一人ひとりが積極的に自らの健康管理が行えるよう意識改革を徹底します。
5. 輸送の安全に関する教育及び訓練に関する具体的な計画を作成し、確実に実施します。
6. 輸送の安全に関する事故・災害に関する情報が速やかに社内に伝達・共有される連絡体制を確立し、その管理と維持に努めます。
7. 輸送の安全に関する基本的方針に基づき内部監査を行い、必要な是正措置及び予防措置を適切に講じます。

3. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

(1) 2025年度目標及び達成状況

1. 両備新交通3悪絶対禁止（アルコール検知違反ゼロ、携帯電話・スマホルール違反ゼロ、追突事故ゼロ、）

目標 0件 → 結果0件

2. 重大事故発生件数

目標 0件 → 結果0件

3. 事故発生件数

1. 総事故件数

目標 6件以内（昨年比30%減） → 結果11件

2. 有責事故件数

目標 有責事故0件 → 結果 有責事故0件

4. 輸送の安全に関する投資（2025年度実績）

1. 車両更新並びに増車に伴う投資 0千円

2. 事故防止教育等に伴う投資 679千円

3. 健康管理に関する投資 934千円

4. 主たる安全設備の新設・更新に伴う投資 92,146千円

(2) 2026年度目標

1. 安全スローガン

一、「プロの自覚で応える社会の信頼」

2. 安全目標

一、基本厳守の防衛運転

一、交差点進入時の確実な安全確認

一、お客様に寄り添った接遇・感謝の徹底

一、有責事故ゼロ！

3. 両備新交通三悪絶対禁止 目標 0件

4. 重大事故発生件数 目標 0件

5. 事故発生件数

1. 総事故件数 目標 昨年比20%減（9件以内）

2. 有責事故件数 目標 0件

6. 輸送の安全に関する投資（2026年度）

1. 軌道・電路の設備更新 87,000千円

2. 車両の設備更新 40,000千円

7. 目標達成に向けての取り組み

1. 安全最優先・関係法令遵守の意識の徹底
2. 安全に関する教育研修の実施
3. 管理者による日常的な監督指導の強化
4. 情報の伝達及び共有
5. 安全設備の管理の充実
6. 安全管理体制の強化

4. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 物損／人身事故（道路障害事故含む）・輸送障害事故の発生件数

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
物損・人身事故件数 (道路障害事故含む)	6	10	9	13	11	11
輸送障害事故件数	0	0	2	3	0	0
負傷者数	0	1	0	0	0	3

※1 乗用車等による発生した交通事故の影響を受け30分以上の運行遅延、運休等が生じた件数

※2 事故に関連し負傷者された方の総数

2025年度の総事故件数は11件※1は除く。総件数は、昨年比較で増減なしとなり、目標達成には至りませんでした。

総事故件数11件の内訳としては、有責事故（当社側に過失のある事故）0件（昨年1件）、無責事故（相手側過失事故）6件（昨年6件）となります。なお、重大事故は0件でした。

引き続き、安全に対する意識を高め、本年の目標の一つである「基本動作の励行」「有責事故ゼロ！」を心掛け事故0を目指すよう教育を施します。いつも、お客様に安心してご利用いただける路面電車を目指します。

<参考>

道路障害事故とは・・・道路上において電車が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故をいいます。ただし、軽度の自動車との接触事故で死傷者が発生していないものについては該当しません。

輸送障害事故とは・・・ 軌道による輸送に障害を生じた事態であって、運転事故以外のものをいいます。「道路障害事故」に該当しなくとも、車両の運転を休止したもの又は30分以上の遅延を生じた事故は「輸送障害事故」とみなします。

(2) 災害（台風、洪水、地震、豪雪など）の状況

2025年度は、台風による運行への影響はございませんでした。

(3) インシデント（事故の予兆）の状況

2025年度は、安全目標の遵守によりインシデントの発生を防ぐことができました。本年も基本動作の徹底を講じ、より一層安全に対する努力をしてまいります。

(4) 社内アルコール検知違反の状況

2025年度は、飲酒検知による事案は発生しませんでした。なお、引き続き全運転士に対し注意喚起を図るとともに、さらなる自覚と責任を促し防止に取り組んでおります。

(5) 行政指導等の状況

2025年度は、2023年5月に発生した有責事故の行政指導(3ヶ月間の免許停止処分)がありました。

5. 輸送の安全確保に対する取り組み

(1) 全社的な取り組み

1. 岡電安全マネジメント委員会の月例開催

社内における安全管理を司る組織体として、岡電安全マネジメント委員会を設置し、毎月6日の「岡電交通安全日」を基本として会議を開催しています。社内における情報連携のいっそうの迅速化、運輸安全マネジメント制度の指針に沿った安全に関わる取り組み強化を推進することにより、安全管理レベルのさらなる向上を目指します。

＜岡電安全マネジメント委員会開催風景＞



2. 「SAS検査の実施」の取り組み

SAS検査により睡眠の状況を把握し、居眠り等による事故の防止に取り組んでいます。



3. 安全最優先、経営方針の徹底

全社員への徹底を十分なものとするため、常に携行できるよう安全最優先、経営方針、安全宣言をカード化し配布のうえ、就業中は常に携帯を義務づけています。

＜経営理念＞

経営理念 忠恕（ちゅうじょ：真心からの思いやり）	行動規範 知行合一 （良いと思うことは必ず実行する） すぐやる・必ずやる・やり切る	3カ年経営ミッション （2025～2027年）
グループ経営方針 一、社会正義（社会への思いやり） 一、お客様第一（お客様への思いやり） 一、社員の幸せ（社員への思いやり）	経営テーマ 安全・安心・エコで健康 AI、IoT、ロボット化	1. 日本一の安全・安心と内外へのホスピタリティの追求 2. 人材経営の徹底・社員満足の追求と多様な人材の育成と活用 3. グループシナジーと生産性向上 4. 地方創生とサステナブルな社会の実現への貢献 5. 顧客中心の価値創造 6. デジタル人材の育成と次世代リーダーシップの強化 7. 国内外市場での成長戦略と地域密着の両立 8. 次代に合わせたビジネスモデルの変革
われらの誓い 労使共栄の道を高く掲げ（正 義） 自らを磨きしめ能力を高め（教 育） やる気一杯業績の向上を図り（生産性） 豊かな人間性で職業奉仕の責をあげる（使 命）	5つの執行責任 業績向上 思い切った改善・改革 エンゲージメントアップと人材育成 方針の完全遂行 新事業の取り組み	

＜安全宣言・方針＞



社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は、「運輸安全マネジメント」に基づき、「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

両備グループCEO 小嶋 光信

活動方針

両備グループ安全マネジメント委員会を中心に、労使協調のもと、より現場に密着した効果的な活動を展開し、目標である「日本一安全な運輸企業」を目指します。

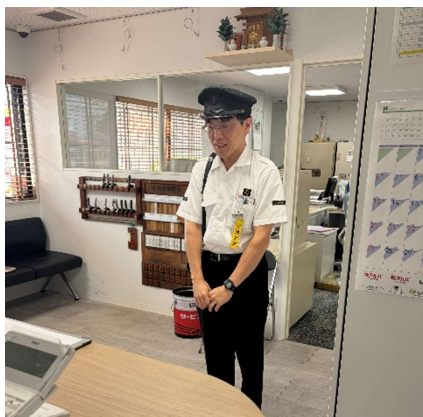
安全方針

1. 安全運転（運転）を第一とし、法令遵守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
2. 車両（船舶）の整備を的確に行ない、日常点検を厳正に行なうこと。
3. 点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
4. 教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
5. 万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとること。

4. 呼気アルコール検知の実施

出勤・退勤時における点呼の際に、全社員を対象に呼気アルコール濃度の測定を義務付けており、社内で別に定める基準を越える数値が確認された場合には就業（運転業務を含めて）を認めていません。ちなみに社内基準では、呼気中アルコール濃度 0.05mg／ℓ以上の検知で乗務停止の措置を行います。

＜ 点呼風景 ＞



＜アルコール検知器使用風景＞



5. 健康起因事故防止への取り組み

従来の運輸主任による対面点呼に加え、乗務前には、「点呼ご安全に」システムにより、その日の体温及び血圧の測定、過去の健康診断結果に基づき個別に設定された問診を受け、乗務にふさわしい体調にあるかどうか科学的な確認を並行して実施することで、運転士の健康起因による事故発生の抑止に努めています。

<「点呼ご安全に」システム>



(2) 電車事業部としての安全重点施策

1. 添乗教育及び定点観測の実施

安全運転は、常日頃の基本操作の励行の積み重ねの結果であるところから、平成18年10月より、添乗教育を安全確保の第一の施策として取り組んでいます。実施頻度は、毎月全運転士に対し1回以上の実施を努力目標に定め、その結果をもとに運転士に対し改善指導を実施することで、即効性のある教育を展開しています。

	在籍運転士数 (2026年3月末現在)	延べ実施回数
人数	29	321

延べ定点観測実施回数	6回
------------	----

2. 係員教育の実施

『年間教育計画』に基づき、車両の運転に直接関係する作業を行う係員の教育訓練を定期的の実施しております。

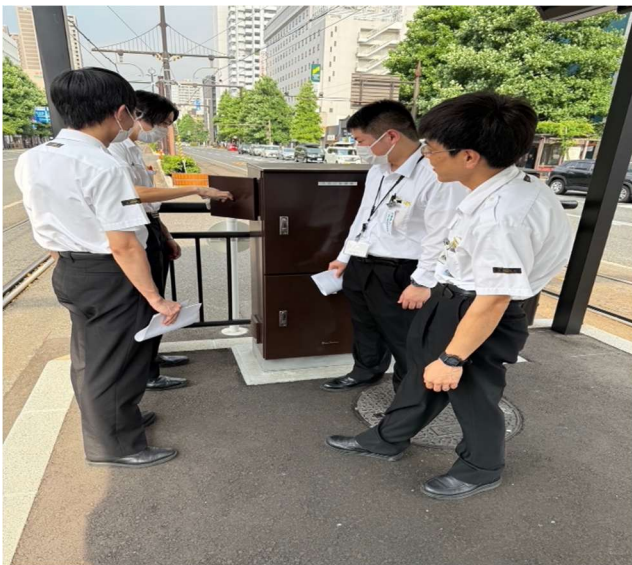
① 机上教育（年1回実施）

全運転士が参加し、机上において事故分析や事故対策等について教育を行い、安全意識の向上を図っております。



② 実地訓練（年1回実施）

全運転士が参加し、事故等異常時対応の実地訓練を行っております。



3. 施設整備面における主な安全対策

① 線路設備の整備

2025年度の整備計画に基づき、レールや分岐器など線路設備を良好に保つことを目的に軌道敷の巡回点検を実施し、レールの破損等の早期発見に努めるとともに、年間を通じて軌道敷の陥没や軌道狂いの解消等について維持修繕を行うことで、安全性と乗り心地の向上を図りました。

4. 運転適性（資質）検査の実施

2025年9月に実施。（3年に1度以上の頻度）軌道関係係員に対し運転適性（資質）検査を実施し、作業を行うに足りる資質の確認を厳正に行っています。次回は2028年9月に実施。

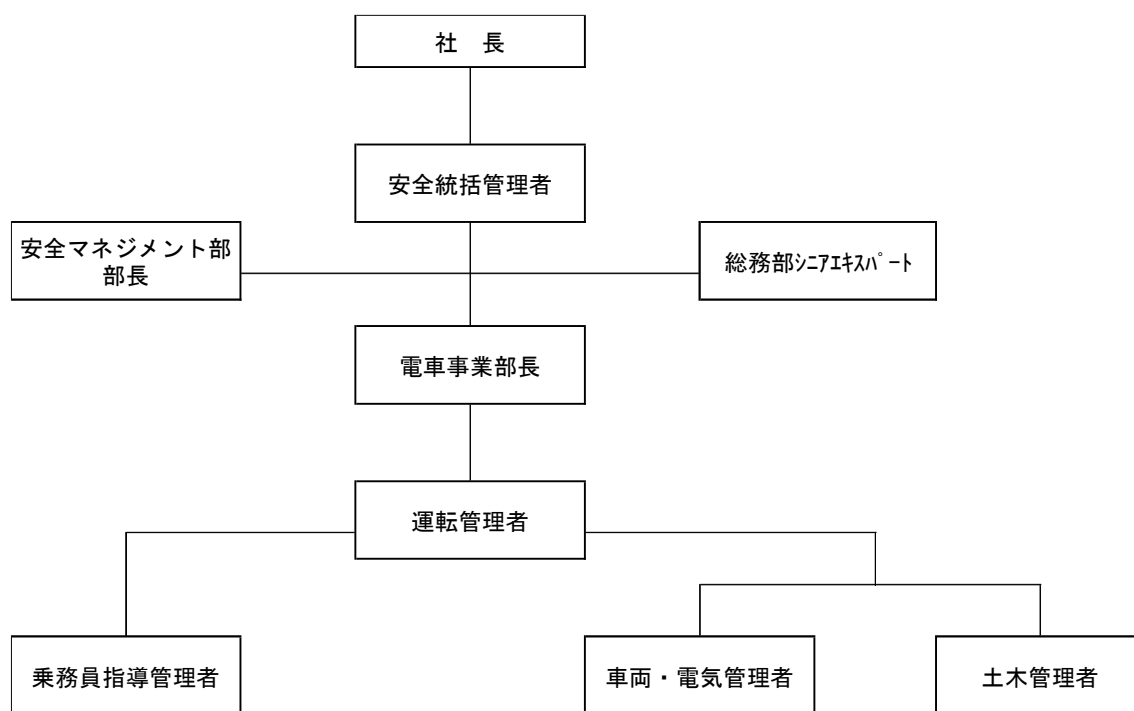
5. 軌道敷の不陸の整備

現在、軌道敷の不陸の点検整備は次の基準を設け、1回／月の頻度で実施しています。なお、基準寸法内でも必要に応じて早期に整備を行うよう努めています。

むくみ	横断歩道上は20mm以上で切削 その他の一般部は30mm以上で切削
穴	横断歩道上は直径100mm以上、段差20mm以上で補修 その他の一般部は直径100mm以上、段差30mm以上で補修

6. 岡山電気軌道（株）電車事業部の安全管理体制

代表者を最高責任者とし、実務執行責任者である安全統括管理者のもと、各責任者の責務を定めています。



役員	役 割
代表者【取締役副社長】 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
電車事業部長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
総務部 シニアエキスパート	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。
安全マネジメント部 部長	輸送の安全の確保を図るため運輸安全マネジメントの適正な運用ならびに管理を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
土木管理者	安全統括管理者の指揮の下、土木施設に関する事項を統括する。
車両・電気管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両・電気施設に関する事項を統括する。

7. 地域の皆さまとの連携

(1) 地域での安全への取り組み

1. 「こども110番」による地域との連携

電車事業部運輸課(運転司令室)を、沿線の子供たちの安全を見守り、時には困ったときには手をさしのべ、相談にのる優しい窓口としての登録を行っております。車両・施設の安全確保のみならず、こどもたちにも安心を提供する窓口を提供しております。

8. ご連絡先

こちらの安全報告書へのご感想、私どもの安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。連絡先は次のとおりです。

岡山電気軌道株式会社 電車事業部(運輸課)	〒703-8291 岡山市中区徳吉町2丁目8番22号
TEL 086-272-5520 FAX 086-272-1288	
E-mail toiwase@okayama-kido.co.jp	
■業務時間 月～金曜日 9:00 ～ 18:00 (祝祭休日及び年末年始を除く)	